

阪神・淡路大震災から学んだこと

平成 26 年 8 月 22 日（木）10：00～

水戸市立吉田小学校

神戸市教育委員会スーパーアドバイザー

NPO 神戸の絆 2005 代表理事 大濱義弘

はじめに

阪神・淡路大震災 20 年目

東日本大震災・大津波・原発事故 3 年目

—阪神・淡路大震災の経験が生かされたか・・・仙台市・花巻・釜石へ

1 大災害で、何が起こるか

※DVD 映像：「5：46 の衝撃」「地震の威力と被害」

2 避難所となった学校

学校へ殺到した人々、防災指令 3 号（全員出動体制）と 4 つの指示

・同時並行的に種々の活動を行う

※DVD 映像：「その時学校では」

・避難所としての機能を果たしながら学校園の再開

・避難所と学校教育活動の共存—様々な人権課題

3 教訓として得たこと

■ 危機管理の要諦・・・リーダーの行動指針・行動原則 等

■ 防災教育の重要性

①【阪神淡路からの教訓】

②【東日本大震災からの教訓】

■ 新しい研究成果・知見に学ぶ

①「防災」から「減災」へ

②「自助」、「共助」、「公助」

③災害時に人間はどのように行動するか（東日本大震災大津波に学ぶ）

○正常性のバイアス ○愛他行動 ○同調バイアス

民間伝承の見直し—「津波てんでんこ」「海鉄砲が聞こえたら逃げろ」

- 新たな防災教育の構築へー減災プランの推進と連携
 - 「備える」「逃げる」「助ける」「伝える」「連携する」
 - 「正しく知って正しく恐れる」

※予測される「国難」二つの巨大地震

首都直下地震・南海トラフ巨大地震の被害想定—最大で冬・深夜の避難率が低い場合、死者 32 万 3 千人—内閣府 24・9・29—、(ただし、津波避難ビルの活用→2~5 割減、地震発生 10 分後に住民の 7 割が避難開始→最大 8 割減)

4 命・絆の大切さ

- ・命
- ・絆
- ・感謝

おわりに

※DVD 映像 「幸せ運べるように」 ♪